

1. 2018（平成30）年度 事業総括

- 当法人の定款に掲げる事業の多くは、「川西市市民活動センター」「川西市男女共同参画センター」の指定管理事業の中で実施しており、法人設立14年目の2018（平成30）年度も、主軸の事業は指定管理事業となった。
- **指定管理事業**は、第1期：3年間（2010（平成22）年度～2012（平成24）年度）、第2期：5年間（2013（平成25）年度～2017（平成29）年度）を経て、**第3期**：5年間（2018（平成30）年度～2022（令和4）年度）の初年度の事業を実施した。

=====

■ テーマ 第3期 「“場”は人が創り、人は“場”で育まれる」

H30年度：「笑顔」と「ありがとう」に満ちた“場”に…

■ 5つの方針

- (1) 川西市内での社会貢献活動の促進、男女共同参画社会づくりの推進のために、「市民的自発性」を醸成し、「多様で自由に豊かな生き方」を涵養する「場」として、併設館の特徴を活かした事業を展開する。
- (2) 公共目的で設置された施設の存在理由に鑑みて、「量的公平性」のみならず「質的公平性」にも配慮するなど、常にバランスを保った運営管理に努める。
- (3) 「市民」目線、「利用者」視点に立った利便性のあるサービス提供を心がけるとともに、引き続き「民間」視点での経営効率化を図っていく。
- (4) 「“施設”を活かすのは“人”」とのコンセプトのもと、魅力ある「場」創りを継続しつつ、様々なメディアを使った対象者別の効果的なPRでさらなる利用を促していく。
- (5) 施設の利用者を育む「場」であるだけでなく、働くスタッフも育まれる「場」となるべく、ゆとりあるスタッフ配置・待遇で、施設の「持続可能な運営管理」をめざす。

- =====
- ・ 第3期は、第2期までの4つの視点を見直し、「人を育む施設」との思いをさらに深く込めて5つの方針で業務にあたった。
 - ・ 市民活動分野では、政策提言（アドボカシー）への促しとして「議会傍聴」も継続して行った。特に今回は市長選や市議選もあったことから、「市民活動」「男女共同参画」の推進とも関連付けたことに意義があった。結果、選挙後に県内女性議員比率第1位ともなった。
 - ・ 男女共同参画分野では、一貫して行ってきた「女性の起業支援講座」が一定の成果を得ており、「市民講師デビュー講座」などをきっかけに、各所で講師活動を展開していくケースが増加している。
 - ・ また、川西市「生涯学習短期大学レフネック」や、兵庫県「阪神シニアカレッジ」のような公的機関との協働事業にも引き続き取り組んだ。これらの連携は、シニアの活躍の場を広げる意味で、今後にもつながる取り組みとなっている。
 - ・ 川西市中心市街地活性化協議会が実施する「川西まちなか美術館」では、実行委員会に最初から参画しており、今回は少し内容を変えた連携講座「アーティストさんと会って話そう！」の出展作家さんとの直接対話の企画もたいへん好評だった。

- ・大切にしている「利用者自治」の観点を活かした事業として、「フェスタ」運営や「センターロッカーの利用」運営なども引き続き行っている。

※「川西市 市民活動センター・男女共同参画センター」の事業詳細については、「2018（平成30）年度 センター事業概要」（2019年（令和元年）8月頃発行予定）に記載予定

- 「NPO 大学 “マナビ塾”」2018 については、長年の実施主体であった「（現）認定 NPO 法人 CS 神戸」から 2015（平成 27）年度にバトンを引き継ぎ、引き続き「ひょうごボランティア基金」の中間支援活動助成を受け、2018（平成 30）年度も当法人が全県事業として実施した。
- **新規事業として実施した「NPO 共済制度の創設めざして」**は、中間支援 NPO が「NPO の中間支援組織」から「公益の中間組織」（※）へと転換が図れる内容で、「共生につながる支援力の充実」をめざして事業を実施した。（※）「中間支援組織の 20 年」より引用。具体的には、NPO 業界を牽引するリーダーや NPO で働くスタッフのために、安価な掛金で充実した保障の共済制度を兵庫県発で創設することを提案した。そのための準備行為として、当該年度は「ワーキングチーム」の呼びかけや、アドボカシーとしての「シンポジウム」を開催した。
- **事務局を再受託する事業**については、今回は第 3 回「川西市男女共同参画カレッジ」のみで、川西市「人権推進室」主催の事業を「NPO 法人 SEAN」が受託、その事務局代行業務を受託した。
- **独自の自主事業**で、従来からの特徴的な取組みとして「**つながりカフェ**」がある。この「まちづくり井戸端会議」の「ラウンドテーブル」実施は、2019（平成 31）年 3 月に第 156 回を迎え、「テーマなし・個人の立場で参加・出入り自由」の気楽なスタイルで継続している。
- 「つながりカフェ」の経験と実績から、猪名川町での「**つながり～いな☆カフェ**」（2012（平成 24）年 11 月から実施：現在は数名の有志での自主運営）のほか、以下の運営サポートを行った。川西市けやき坂での「**つながる けやき坂**」（2015（平成 27）年 2 月はセンター事業で実施・その後 2015（平成 27）年度「川西市テーマ型協働事業」）、「**つながりづくり in 多田東**」（2016（平成 28）年度「川西市テーマ型協働事業」）、「**つながりづくり in 北陵**」（2017（平成 29）年度「川西市テーマ型協働事業」）に加え、「**つながりづくり in 桜小地区**」（2018（平成 30）年度「川西市テーマ型協働事業」）や、地域で任意実施の「**まちづくり井戸端会議**」（緑台・陽明地区コミュニティ推進協議会）についても当法人の特徴を活かした交流会支援事業を展開した。
- また、2005（平成 17）年 4 月 25 日、法人設立 3 日後に起こった **JR 福知山線列車事故**においては、事故直後から主に負傷者とその家族等を対象に被害者支援活動を行ってきたが、「**中間支援**」機能を活かしたサポートは、事故から 13 年を経ても各所から高く評価されている。
- 2014（平成 26）年の夏に移転した事務所では、そのスペースを活かして「**コワーキング**」的**事業**も行いつつある。専門家による「コンサルティング」や「カウンセリング」の他、女性の起業支援として、場所を求めている方への貸出しが増えつつあるのに加えて、「**利用パートナー**」制度を設け、事務スペースの共用化も行った。
- このように、2018（平成 30）年度は、新たな人員体制で事業そのものもリフレッシュしながら、充実した自主事業を行うことができた。（詳細はこれ以降のページに記載）



2018（平成30）年度
様々な活動・事業



2. 2018（平成30）年度 事業実施体制

（1）総会・理事会

① 通常総会（第13回）

- ・開催日 2018（平成30）年5月20日（日）10:30-12:00
- ・開催場所 川西市市民活動センター（男女共同参画センター）
- ・出席者 19人（本人出席：8人 委任出席：11人）
- ・議事内容 2017（平成29）年度（第13期）事業報告・決算報告の承認について
2018（平成30）年度役員の選任について
2018（平成30）年度（第14期）事業計画・活動予算の報告

② 理事会

<第1回理事会>

- ・開催日 2018（平成30）年5月20日（日）9:30-10:25
- ・開催場所 川西市市民活動センター（男女共同参画センター）
- ・出席者 6人（本人出席：6人）

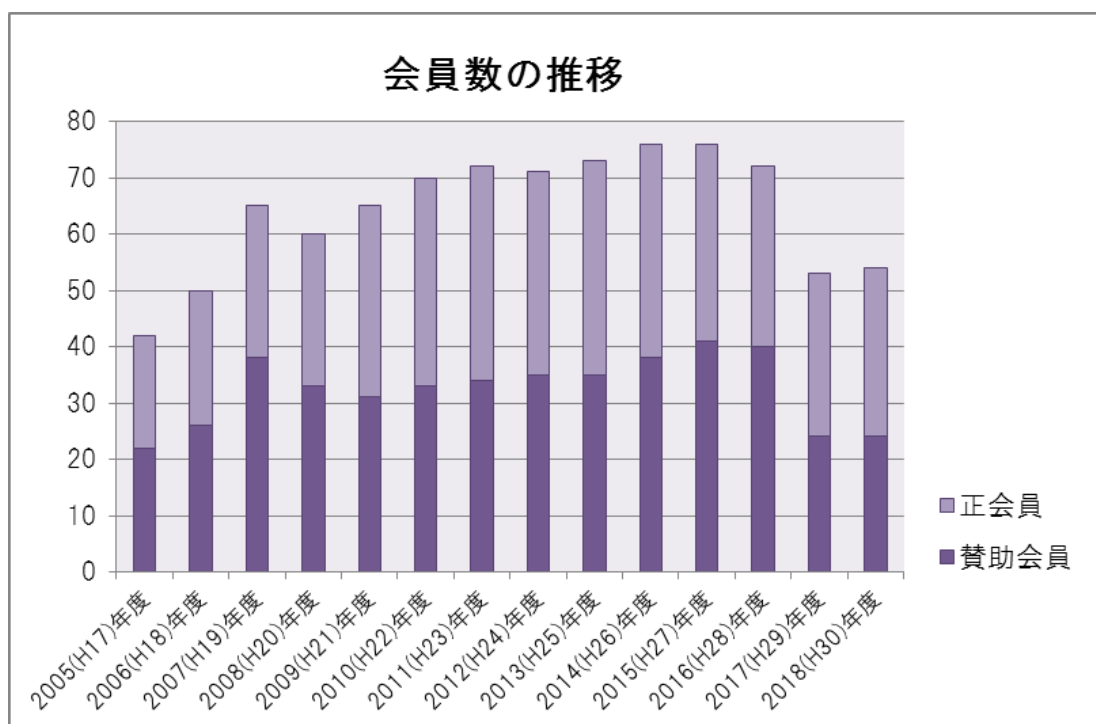
（2）会員

① 正会員（30人）

- ・個人会員：24人
- ・団体会員（企業）：1団体 / 団体会員（非企業）：5団体

② 賛助会員（29人）

- ・個人会員：22人
- ・団体会員（非企業）：7団体



(3) 役員

- ・理事長 三井ハルコ
- ・理事 久 隆浩・中川幾郎・嶋崎眞二・佐野恵美子・東 茂泰
- ・監事 横田信之・津久井 進

(4) 事務局体制 <2018 (平成 30) 年度>

<法人事務局>

- ・事務局長 三井ハルコ
- ・事務局スタッフ 藤森啓子 (2010/4-)
三宅紀代子 (2010/4-2013/3、2016/11-) (会計・税務 2018/3-)
小田切智子 (2017/8-2018/12)
吉岡博充 (2017/9-)
西村牧子 (2017/10-)
吉尾 豊 (2018/4-)
中山 恵 (2019/1-)

<指定管理事業> (川西市 市民活動センター・男女共同参画センター)

- ・センター長 三井ハルコ：全般 (週 5 日)
- ・運営マネージャー 藤森啓子：主に男女共同参画担当 (週 5 日)
- ・常勤スタッフ 西村牧子：主に市民活動担当 (週 5 日)
- ・常勤スタッフ 吉岡博充：主に男女共同参画担当 (週 4 日)
- ・非常勤スタッフ 吉尾 豊：主に市民活動担当 (週 4 日程度)
- ・非常勤スタッフ 三宅紀代子：会計・税務も担当 (週 2 日程度)
- ・非常勤スタッフ 小田切智子 (週 2 日程度) ※2018/12 で退職
- ・非常勤スタッフ 中山 恵 (週 2 日程度)
- ・専門相談員 2名：「女性のための相談」担当 ※業務の秘匿性のため氏名掲載せず
- ・スーパーバイザー 小川真知子 (NPO 法人 SEAN 理事長)
- ・ICT アドバイザー 中西雅幸 (NPO 法人コミュニティリンク理事長)



3-1. 2018（平成30）年度 事業概略（定款に掲げる事業）

（1）情報収集・提供事業

- ① 地域のさまざまな情報を収集し、WEB サイト・ブログなどで情報を提供
- ② 会員向けニュースレター等の発行
- ③ 指定管理事業内で、両センターへ寄せられる情報を分かりやすく集約し、センター内の様々な情報（図書・資料・チラシ・パンフレット・ビデオ・DVD等）も提供

（2）ネットワーキング事業

- ① 「つながりカフェ」（「まちづくり井戸端会議」交流つどい場）を実施
- ② 「関西 NPO 支援センターネットワーク（KNN）」に参画
- ③ その他各組織とのネットワーキング
- ④ 指定管理事業内で、様々な交流会を実施

（3）相談・支援事業

- ① 「市民活動・NPO・起業サポート相談」の実施
- ② JR 福知山線列車事故 被害者支援
- ③ 「つながり～いな☆カフェ」（猪名川町での「まちづくり井戸端会議」）の運営支援
- ④ 「つながりづくり in 桜小地区」（川西市桜小地域での「まちづくり井戸端会議」）の運営
- ⑤ 「まちづくり井戸端会議」（緑台・陽明地区コミュニティ推進協議会）の運営サポート
- ⑥ 指定管理事業内で、「市民活動・NPO・起業サポート相談」や「女性のための相談」等実施

（4）啓発事業

- ① 指定管理事業内で、公益的な社会貢献活動や男女共同参画に関する講座を実施

（5）人材育成事業

- ① 「NPO 大学・マナビ塾 2018」の実施
- ② 「川西市男女共同参画カレッジ」（川西市「人権推進室」主催）の事務局代行業務受託
- ③ 指定管理事業内で、両センター事業の講座・交流会・相談などの中で実施

（6）政策提言・調査事業

- ① 「NPO 共済制度の創設めざして」として NPO スタッフの働き方改革を提案
- ② さまざまな課題案件について、市・県などの担当所轄部局と協議・提言
- ③ 「川西市キセラ川西エコまち協議会みどり部会」に副会長として参画
- ④ 「川西市参画と協働のまちづくり研修：実践編」で参画
- ⑤ 指定管理事業内で、「川西市新任主任の職員研修」を実施
- ⑥ 指定管理事業内で、「川西市男女共同参画審議会」に陪席
- ⑦ 指定管理事業内で、「川西市参画と協働のまちづくり推進会議」に陪席

（7）施設管理・運営事業

- ① 川西市市民活動センター・川西市男女共同参画センターの指定管理事業の実施

3-2. 2018（平成 30）年度 事業内容

※指定管理事業「川西市市民活動センター」「川西市男女共同参画センター」事業概略については「2018（平成 30）年度センター事業概要」（2019 年 8 月頃発行予定）に記載予定

（1）情報収集・提供事業

- ① 地域のさまざまな情報を収集し、WEB サイト・ブログなどで情報を提供
 - ・法人用ホームページのリニューアルを進めていたが、諸事情から 2018（平成 30）年度も、着手できなかった。
- ② 会員向けニュースレター等の発行
 - ・法人会員向けニュースレター等の発行は行うことができなかったが、お知らせなどの活用で気軽な報告を心掛けた。
- ③ 指定管理事業内で、両センターへ寄せられる情報を分かりやすく集約し、センター内の様々な情報（図書・資料・チラシ・パンフレット・ビデオ・DVD 等）も提供
 - ・センター事業においては、ホームページ・ブログで有用情報を提供するほか、各所からの配布物など情報が大量にあり、それらの提供を有効に行った。
 - ・センター事業においては、「センター情報紙」の発行を年に 2 回行い、社会貢献活動や男女共同参画にまつわる記事提供や、センター利用登録グループの紹介などを積極的に行った。

（2）ネットワーキング事業

- ① 「つながりカフェ」（井戸端会議のような交流の場）を実施

概 略		主な収益と費用（単位：円）	
時期	原則 第 3 木曜日 18:30-20:30	収益	参加費 26,700
場所	川西市市民活動センター	費用	部屋代 8,510
回数	12 回（第 145 回～第 156 回）		茶菓代 4,900
人数	延べ 157 人／年		

- ・当法人が、設立 1 年後から 13 年間にわたり実施している特徴的な事業。テーマなしで出欠連絡も不要の「まちづくり井戸端会議」を継続して開催した。
- ・参加者は、常連の方・久しぶりの方・初めての方など様々で、年代・性別・属性も多岐にわたっている。毎回、話題も雰囲気も異なり、話が尽きることなく、多くの方々から好評を得ている。
- ・「つながりカフェ」参加者の中には、市の各公募委員に応募したり、パブリックコメントに参加したりする方も多く、市民参画の「土壌づくり」の場ともなっている。
- ・また、市内外で新たな「まちづくり井戸端会議」の場をつくる際に、「つながりカフェ」をモデルとしている。（メーリングリスト参加者数：355 人）



② 「関西 NPO 支援センターネットワーク (KNN)」に参画

概 略		主な収益と費用 (単位:円)	
時期 場所	2018 (H30) 年 3 月 8 日「例会」・「懇親会」 「中間支援ビジョン共有大会」@堺市内 ※これ以降、年度内の開催はなく、メーリングリスト 上で情報交換・情報共有など	収益 費用	参加費

- ・今まで「大阪ボランティア協会」が事務局を担ってきた「KNN」の連絡体について、結成以来約 10 年が経過し状況も変化してきたことから 5 年前に 1 年かけて KNN の意義・役割・今後のあり方を話しあった結果、2014 (平成 26) 年度以降は「年度幹事制」の自主運営型で継続することになった。
- ・その初年度「年度幹事」を「NPO 法人市民ネットすいた」(柳瀬真佐子さん・春貴勇力さん)と当法人(三井・入江)が担い、緩やかな「つながり」が継続するような運営を図った。
- ・「年度幹事」の主な活動は、年に 1 回の定例会と 2 回程度の研究会の企画・開催で、2014 (平成 26) 年度は、2015 (平成 27) 年 1 月 8 日に、吹田市立市民公益活動センターにて、定例会と研修を合体させ実施した。
- ・その後もネットワークは継続しており、2018 (平成 30) 年度も参画した。

③ その他、各組織とのネットワーキング

<「ひょうご子育てコミュニティ」>

- ・「NPO と行政の子育て支援会議 運営事業」(国の緊急雇用就業機会創出事業を活用した事業: コーディネーター設置: 4 年間) は、2009 (平成 21) 年度～2012 (平成 24) 年度まで兵庫県から受託した事業で、この事業受託の際に、三井事務局長が「NPO と行政の子育て支援会議」の幹事になった関係で、その後も連絡体との連携が継続している。
- ・2013 (平成 25) 年度からは、兵庫県の子育て支援における民官協働の連合体の「在り方」や「今後」を考える場に、三井事務局長が副代表幹事として 2 年間にわたって関わり、新たなスタートを切るための基礎固めを支えた。その結果「NPO と行政の子育て支援会議」から「ひょうご子育てコミュニティ」への名称変更や、規約・事業内容などの改変もスムーズに行われた。
- ・副代表幹事の役職は 2014 (平成 26) 年度中に任期満了となり解かれたが、2018 (平成 30) 年度も引き続き幹事として在席している。また、2015 (平成 27) 年度より県内各地を回るようになった「メッセ」では、2018 (平成 30) 年度は 2019 (平成 31) 年 2 月 3 日に神戸市垂水区での開催となり、当日の運営支援に携わった。



<「ひょうごコミュニティ財団」>

- ・2011（平成 23）年度、2012（平成 24）年度に内閣府の「新しい公共支援事業」の一環で執り行われ、兵庫県では「地域づくり活動支援事業」として実施された事業において、県内 5 つの中間支援 NPO 法人と ICT 系 NPO 法人との 6 団体で、「NPO 等イメージアップ作戦事業（寄附募集支援事業）」を受託し、兵庫県における「市民基金（ファンド）」の仕組みの構築や寄付文化の醸成に取り組んだ。
- ・2013（平成 25）年度からは、「公益財団法人 ひょうごコミュニティ財団」としてスタートし、三井事務局長が評議員に就任している。

④ 指定管理事業内で、様々な交流会を実施

- ・センター事業においては、「川西市内 NPO 法人ネットワーク交流会」や、「センター利用登録グループ交流会」、また、センターの周年行事である「フェスタ」の準備時の話しあいの場（4 回）も利用登録グループ同士の交流を深める場として実施した。

（3）相談・支援事業

① 「市民活動・NPO・起業サポート相談」の実施

- ・相談の「インテイク」と呼ばれる最初の段階は、指定管理事業の「川西市市民活動センター」事業内「市民活動・NPO・起業サポート相談」で対応し、継続性や専門性が必要な段階で、法人事業（一部有料）で対応した。
- ・今後は、新事務所のスペース活用で、「専門家」相談もさらに充実させていきたい。

② JR 福知山線列車事故 被害者支援

- 「総合情報相談」（各機関との連携やコーディネート）（随時）
- 「語りあい、分かちあいのつどい」の開催（原則第 1 土曜日午後：通算 161 回）

概 略		主な収益と費用（単位：円）	
時期	原則 第 1 土曜日 14:00-16:00	収益	参加費 6,400
場所	川西市市民活動センター	費用	部屋代 8,280
回数	12 回（第 150 回～第 161 回）		茶菓代 1,058
人数	延べ 44 人～／年		

- ・法人設立直後から行っている JR 福知山線列車事故の被害者支援を継続実施した。
- ・事故から 14 年、「語りあい、分かちあいのつどい」は 2018（平成 30）年 4 月 7 日に第 150 回を迎えた。第 150 回当日は、スライドショーの写真などで今までの活動を振り返る場を持ったが、その後も節目などに関わりなく、体や心に傷を負った方々にとって、この会の存在自体が心の安寧につながり、「生き続ける」勇気への一助となっていることを実感している。
- ・このように、目まぐるしい社会の動きで事故の風化がさらに進む中、今なお初めてアクセスしてこられる被害者もあるなど、「ともし続ける灯り」を掲げて地域の総合的な相談窓口の役割や機能を果たしてきたことの意義をさらに認識し、今後も変わらず活動を継続していく。
- ・負傷者やその家族などに対する、これらの地道なサポート活動が一つの契機となり、2012（平成 24）年度からは、国土交通省 総合政策局 安心生活政策課管轄で「公共交通事故被

「被害者支援室」も開設された。そこでは遺族だけでなく負傷者やその家族の視点も含んだ支援事業が行われつつある。これは、日本における大規模公共交通事故の被害者への公的な支援施策において画期的なことであり、支援事業に「負傷者視点」の柱が立てられたことへの当法人の貢献度は極めて高いと言える。

- 例えば、兵庫県こころのケアセンターが、負傷者の心的外傷後ストレス障害（PTSD）の症状などのアンケート調査を過去にも実施しているが、2018（平成 30）年度の調査では、「量的」ではなく「質的」分析で対面インタビューの聴き取りを実施するにあたり、加藤 寛センター長から当方へ、調査の時期や内容、その妥当性などについて事前相談があった。
- このような「間に立ってつなぐ」中間支援機能を活かした「被害者サポート」は今までになかっただけに、当初、その立場や役割への理解が得られないことが多々あったが、14年を経て、有用性・必要性や重要性への評価を得られるようになった。今後も、一つのモデルとして、国益に結びつく事業を、他のケースに対しても継承していきたい。



③ 「つながり～いな☆カフェ」（猪名川町での井戸端会議のような交流の場）の運営支援

概 略		主な収益と費用（単位：円）	
時期	原則 第 2 金曜日 10:00-12:30/18:00-20:30	収益	参加費
場所	猪名川町中央公民館 2 階	費用	部屋代 茶菓代
回数	12 回（第 66 回～第 77 回）		
人数	延べ約 600 人/6 年（2018 年度 77 人）		

- 2011（平成 23）年度、2012（平成 24）年度に内閣府の「新しい公共支援事業」の一環で執り行われ、兵庫県では「地域づくり活動支援事業」として実施された事業において、2012（平成 24）年度に、「NPO 等カフェ支援事業」を受託して、川西市の北部に位置する猪名川町域において、将来的な中間支援組織の設立も視野に、人が集まって色々な話ができる「場づくり」支援の事業を行った。
- その際に、当法人が継続実施している「つながりカフェ」（まちづくり井戸端会議）をモデルに事業実施した結果、「つながり～いな☆カフェ」という名前で定例化するようになった。
- その後、2013（平成 25）年度は、「ひょうごボランティア基金助成」制度の「中間支援活動助成」事業で、「“つながりカフェ” リアル化事業」として、猪名川町での「つながり～いな☆カフェ」の運営サポートを継続し、また、このような「つながりの場」が常時持てるよう、当法人の事務所移転構想も含んだ事業を実施した。
- 立上げ当初の目標の 1 つであった「将来的な中間支援組織の設立」については、参加者の中に「中間支援的役割」に興味を持つメンバーがあり、猪名川町行政職員の方とも話しあい、猪名川町施策の「いながわベース」とも連携しつつ後方支援を継続しているところである。

- ・上記の経緯も経て、現在は数人の有志で緩やかに運営しており、時折、具体的な案件が生じた時にミーティングを持っている。その話し合いの結果、2018（平成30）年度4月からは、「つながり～いな☆カフェ」の開催を、偶数月が夜、奇数月が午前の開催となっている。
- ・このように主に猪名川町域においての「つながりを創る場」として良循環の活動が継続している。（メーリングリスト参加者数：100人）



つながり～いな☆カフェ in 猪名川町

④「つながりづくり in 桜小」（桜小コミュニティでの「まちづくり井戸端会議」）の運営

概 略		主な収益と費用（単位：円）	
時期	2019年2月15日／3月9日／3月28日	収益	謝金 42,000
場所	地域交流室さくら	費用	
回数	3回		
人数	参加人数：20人／13人／16人		

- ・2015（平成27）年度、2016（平成28）年度、2017（平成29）年度に引き続き、2018（平成30）年度も、川西市内で「まちづくりラウンドテーブル」の開催を希望する地域を対象に、川西市と協働で「川西市テーマ型協働事業」を実施した。
- ・この事業では、市域の「コミュニティ」（1小学校区）単位の住民を対象に、「地域自治」意識の醸成を図るため、その土壌づくりのお手伝いとして「まちづくりラウンドテーブル」の開催や運営を行っている。
- ・2015（平成27）年3月14日に、「けやき坂」での地域ニーズを感じて、「川西市市民活動センター事業」の出張講座として、「けやき坂公民館」を会場に、誰もが気軽に参加できる「まちづくり井戸端会議」を実施した。その後「川西市テーマ型協働事業」制度で市と協働で継続開催し、住民の世代間交流や「新しいつながり」のきっかけづくりをサポートした。
- ・2016（平成28）年度は、多田東コミュニティ地域にあるコミュニティカフェ「しゃらりん」を会場に、2017（平成29）年度は、北陵コミュニティ地域において「北陵公民館」を会場に実施し、2018（平成30）年度は、桜小コミュニティ推進協議会において「地域交流室さくら」を会場に実施した。いずれも当法人が13年間継続実施している「つながりカフェ」のノウハウを活かし、久 隆浩先生にも同席いただき、地域での「まちづくり」のことや「まちづくり井戸端会議」の果たす役割などについてお話しいただいた。
- ・この事業で起こした「場」を、今後、参加者自身がどう運営し活用していくか、また自治会やコミュニティ組織と融合できるような「地域自治」の機運が醸成できるか、さらに、地域活動の「ネットワーク型運営」に結びついていくか、などが当面の課題となっている。



⑤ 「まちづくり井戸端会議」（緑台・陽明地区コミュニティ推進協議会）の運営サポート

- ・2018年度の半ばぐらいに、川西市「参画協働課」のコーディネートで、川西市「緑台・陽明地区コミュニティ推進協議会」からの「まちづくり井戸端会議」第1回開催時のサポート依頼を受けた。協議会内では青年部会を中心にこの事業を任せてみようとする動きがあり、川西市との協働の「川西市テーマ型協働事業」とは別途、センター事業とも絡めて出張相談としてサポートに赴いた。
- ・数回の打合せののち、第1回目を2019（平成31）年2月3日午後を開催した。このようなタイプの「会議」は初めてという方が多く、今後のコミュニティ活動の動き方として新たな布石となったのではないだろうか。協議会側のゆっくりじっくり進めていきたいとの意向もあり、第2回目は7月13日（土）、第3回目は8月31日（土）いずれも午前中で開催予定である。



- ⑥ 指定管理事業内で「市民活動・NPO・起業サポート相談」や「女性のための相談」実施
- ・詳細は「2018（平成30）年度センター事業概要」（2019年8月頃発行予定）に記載予定

（4）啓発事業

- ① 指定管理事業内で、社会貢献活動や男女共同参画に関する講座を実施
- ・詳細は「2018（平成30）年度センター事業概要」（2019年8月頃発行予定）に記載予定

（5）人材育成事業

- ① 「NPO 大学・マナビ塾」2018 の実施

概 略		主な収益と費用（単位：円）		
時期	通 年：2018（H30）年8月～2019（H31）年3月	収益	助成金	500,000
	北播磨校：2019（H31）年1月27日10:00-16:30		参加費	54,000
	阪神南校：2019（H31）年2月07日10:00-16:30			
協力 団体 場所 人数	北播磨校：NPO 法人北播磨市民活動支援センター	費用	人件費	175,000
	小野市うるおい交流館エクラ		交通費	59,062
	14人（9団体）		宣伝費	24,448
	阪神南校：NPO 法人シンフォニー		通信	12,110
	阪神尼崎駅前：土井ビル			
	7人（6団体）			

- ・冒頭「事業総括」の「NPO 大学・マナビ塾」2018 の欄にも記載したように、阪神淡路大震災以降、全国的にも先駆けて展開されてきた兵庫県の NPO 活動において、それらを後方、あるいは側面から支援してきた、初代「NPO マネジメントスクール」やその後の「NPO 大学」等の果たしてきた役割は非常に大きい。
- ・すでに、受講者（団体）は延べ 1,000 人を越え、受講後に県内各地で牽引役となって活動している NPO 法人等も多い。（当法人は、法人化直前の 2004 年に三井事務局長長が受講。以降、スタッフが順次受講）
- ・一方、NPO 法施行から 20 年が経ち、NPO 法人を取り巻く環境も大きく変化している。このような中、20 年間継続されてきた事業の基本コンセプトは守り「継承のバトン」を大事にしつつ、かつ、新たな要素も取り入れて、県内 NPO 法人の持続可能性を高める事業を遂行した。
- ・従来と同様、NPO の運営支援に重点を置き、「認定 NPO 法人 CS 神戸」のノウハウを譲り受け、日々の「市民活動・NPO・起業サポート相談」においてもマネジメント手法を伝えていった。
- ・また、「マナビ塾」の対象エリアは、現地の中間支援力をさらに高める意味で、当該年度は、北播磨と阪神南の両県民局管内に設定し、「NPO 法人北播磨市民活動支援センター」「NPO 法人シンフォニー」を協力団体に出張セミナーを行った。2 団体には、受講者募集や当日アドバイザーの協力を仰ぐほか、後日の受講者フォローも依頼している。
- ・セミナー実施にあたっては、「認定 NPO 法人 CS 神戸」理事長の中村順子さんをはじめ、飛田敦子さん、兵庫県立大学教授の當間克雄先生の全面的なバックアップを受けて、受講者にとって非常に学びの多い深い内容のセミナーを開催することができた。またその後も、受講者と当法人とのネットワークが生まれ、センター事業などへの参加も続いている。

② 事務局代行：再委託業務

「川西市男女共同参画カレッジ」（川西市「人権推進室」主催）の事務局再委託

概 略		主な収益と費用（単位：円）		
	川西市男女共同参画カレッジ（NPO 法人 SEAN より受託） 2018（H30）年 9 月 1 日～2019（H31）年 2 月 28 日	収益	受託金	108,000
		費用	人件費	85,000
			事務費	5,538
			電話代	9,462

③ 指定管理事業内で、両センター事業の講座・交流会・相談などの中で実施

- ・詳細は「2018（平成 30）年度センター事業概要」（2019 年 8 月頃発行予定）に記載予定

（6）政策提言・調査事業

- ① 「NPO 共済制度の創設めざして」として NPO スタッフの働き方改革を提案
- ② さまざまな課題案件について、市・県などの担当所轄部局と協議・提言
- ③ 「川西市キセラ川西エコまち協議会みどり部会」に副会長として参画
- ④ 「川西市参画と協働のまちづくり研修：実践編」で参画
- ⑤ 指定管理事業内で、「川西市新任主任の職員研修」を実施（1 回）
 - ・詳細は「2018（平成 30）年度センター事業概要」（2019 年 8 月頃発行予定）に記載予定
- ⑥ 指定管理事業内で、「川西市男女共同参画審議会」に陪席（1 回）
- ⑦ 指定管理事業内で、「川西市参画と協働のまちづくり推進会議」に陪席（1 回）

(7) 施設管理・運営事業

① 川西市市民活動センター・川西市男女共同参画センターの指定管理事業の実施

概 略（第3期：1年目）		主な収益と費用（単位：円）		
時期	2018（H30）年4月1日～ 2019（H31）年3月31日	収益	指定管理料	34,756,000
			利用料金	1,698,134
場所	川西市市民活動センター 川西市男女共同参画センター	費用	人件費	16,585,097
			委託料	12,595,600
			謝金	1,094,850

・詳細は「2018（平成30）年度センター事業概要」（2019年8月頃発行予定）に記載予定

3-3. 2018（平成30）年度 その他の活動

1. 川西市「生涯学習（レフネック）」広報誌で「NPO 法人について」取材（7月頃）
2. 川西市「キセラ川西エコまち協議会 みどり部会」副部長
3. 川西市「キセラ川西せせらぎ公園：管理棟セルフビルドプロジェクトワークショップ」
「設計・施工ワークショップ」参加（①2018/2/24・②3/17・③4/28・④6/30 欠席）
「名付け親ワークショップ」参加（①2018/10/13・②11/17）
4. 川西市「パークオフィスキセラ丸：内覧会」出席（2019/3/21）
5. 川西市「キセラ川西せせらぎ公園：キセラカフェ」参加
（①5/12・②7/14・③9/8・④11/10・番外 12/22・⑤2019/1/12・⑥3/9）
6. 川西市「子育てフェスティバル」参加（11/11）
7. 社会福祉法人川西市社会福祉協議会「評議員会」出席（2019/3/29）
8. 社会福祉法人川西市社会福祉協議会「社協ひだまり基金事業選考委員会」選考委員（2019/2/22）
9. 兵庫県阪神北県民局「助成金説明会」で「中間支援 NPO 法人」の役割と法人紹介（4/16）
10. 兵庫県阪神北県民局「地域見本市」（オータムフェスタ）不参加
11. 公益財団法人兵庫県生きがい創造協会「阪神シニアカレッジ」講師
（2年生：4/23・5/21（校外学習）・6/4・10/22・2019/2/18 / 1年生：2019/2/13）
12. 公益財団法人ひょうごコミュニティ財団「評議員会」出席（9/27）
13. ひょうご中間支援団体ネットワーク「意見交換会」（企画部会）なし
14. ひょうご中間支援団体ネットワーク「意見交換会」参加（2019/3/26）
15. ひょうご子育てコミュニティ「総会」出席（6/21）
16. ひょうご子育てコミュニティ「幹事会」出席（9/20・2019/2/21）
17. ひょうご子育てコミュニティ「子育て支援メッセ in 垂水」出席（2019/2/3）
18. 大阪市「新たな地域コミュニティ支援事業 業務委託事業者 中間評価」評価委員（10/23・11/1）
19. 大阪市「新たな地域コミュニティ支援事業 業務委託事業者 期末評価」評価委員
（2019/3/4・3/11）
20. 大阪市「地域公共人材 選考会議」選定委員（8/9・2019/2/12）
21. 大阪市福島区「コミュニティ育成事業」選定委員（7/2）
22. 大阪市阿倍野区「コミュニティ育成事業」「新たな地域コミュニティ支援事業」選定委員
（2019/2/19）
23. 大阪市鶴見区「コミュニティ育成・支援事業」選定委員（2019/2/21）
24. 大阪市港区「コミュニティ育成支援事業」「新たな地域コミュニティ支援事業」選定委員
（2019/2/26）
25. 大阪市城東区「新たな地域コミュニティ支援事業」選定委員（2019/3/5）
26. 大阪市西淀川区「新たな地域コミュニティ支援事業」選定委員（2019/3/6）
27. 箕面市「夢の実支援金（みのお市民活動支援金）成果報告会」コメンテーター（4/21）
28. 箕面市「夢の実支援金（みのお市民活動支援金）交付検討会議」審査員（6/30）